

特集「まくべつの老舗物語」より

木川商店

町民文芸

まくべつ

第22号・2006

昭和5年、現在の場所で初代・政次郎、マサオ夫妻で開業。
そのころは酒・雑貨類を販売していた。

昭和33年に有限会社設立と同時に拓二氏が二代目として経営を継ぐ。
昭和50年代後半から弁当と総菜の調理販売を手掛けるように。
平成14年3月末で生鮮品や総菜部門を廃業し、酒・タバコ・米その他の扱いとなる。

3代目の若い世代になってからは「十勝うまいものや」としてインターネットでの
十勝の農産物、海産物、どろぶたメンチカツやゆり根コロッケなどを販売。
どろぶたメンチカツは自慢の一品。

ゆり根コロッケは図書館・「北の本箱」福原義春氏もお気に入りだそう。

